

高齢者に配布している入浴優待券の幅広い利用を

金券として使うことは考えていません



平出 英夫 議員

**質問：**高齢者に配布している入浴優待券の利用状況は。

**答弁：**平成20年は2,431人に、一人あたり11枚計26,741枚を配布しました。利用率はおよそ64%です。



**質問：**優待券を家族も使えるように、また買い物券としても使えるなど、幅広い活用を考えてはどうか。

**答弁：**この優待券は高齢者福祉として長年ご苦労をいただいた75歳以上の町民の方に対して敬老の意味をこめてお配りしているものです。

金券として使うことは考えていません。そうした仕組みを作るとなれば、財源の確保も必要になります。

□その他の質問  
\*パノラマ支援について



パノラマスキー場（アルパイングレンデ）

選挙中の公約とスタンスが変わっていないか

公約通りにやっています



小林 光 議員

**質問：**パノラマ再建案はぜひ進めてほしいと思うが、選挙中のスタンスとは違っていると見受けられる。今のスタンスは。

**答弁：**選挙中に言ったことは、財政の再建、パノラマの赤字の回復、大企業誘致、エプソンなどの大企業との関係改善、サービスが行き届く福祉などでした。現在その通りにやっていると見受けられます。

財政再建が第一、パノラマを再建しながら1億円の減収を補うことが最大の課題です。福祉、特に介護については今年も100%ケアし、来年以降5年計画で落ちこぼれが出ないようにします。計画通りでないのは、厳しい経済情勢の中で大企業誘致ができていないことです。

**質問：**パノラマ再建策について、自信、覚悟の程は。

**答弁：**自信は今のところ十分にはありません。しかし、やらなければならぬという信念だけは持っています。成功の確率を上げるために、住民懇談会に向けた具体的なデータ作りを進めています。

□その他の質問  
\*渡辺別荘跡地買収の経緯について 他